

ハクセル美穂子のポリティカル・テーマ

100年先も

「いわて」が「いわて」であるように、  
みんなで創る「いわて」

岩手県議会議員

ハクセル美穂子

いわて県政レポート

2017  
春号

Growing  
Together!  
みんなで創る「いわて」

ハクセル美穂子 これまでの活動

2016年  
9月

国体 岩手県選手団  
顧問に就任

県内各地で様々な競技が行われ、私も各会場を回り大応援！  
スポーツの持つ地域を盛り上げる力や可能性を再認識しました。  
岩手県は、天皇杯(男女総合成績)2位の過去最高成績を収めました。



天皇杯2位の表彰状とともに



国体閉会式



ソフトボール競技



国体開会式

2016年  
11月

9月定例会と  
決算特別委員会

国体開催のため、異例の11月に開催された9月定例会。  
私は2度目の一般質問に登壇。一問一答形式で県政課題を80分質疑しました。  
私の質疑の内容は、裏面で詳しくご説明します。



9月定例会一般質問

2016年  
12月

12月定例会  
【一般会計  
補正予算審議】



地域包括ケア発祥の地、みつき病院にて

2017年  
3月

3月定例会と  
予算特別委員会

平成29年度一般会計予算  
9797億32百万円  
前年比△8.1%  
「未来につなげる復興ふるさと振興予算」



復興特別委員会  
現地調査(陸前高田市)



3月定例会  
予算特別委員会

## 二回目の一般質問に登壇！



二巡目いわて国体の影響で11月に行われた9月定例会で、2度目の一般質問に登壇。今回は、一問一答の質問形式に挑戦し、知事や県執行部と80分間にわたり県政課題について質疑を交わしました。

私が、今回の目玉に掲げた質問は、「働き方改革」です。達増知事は昨年6月に「イクボス宣言」をしました。女性が働きやすい職場環境は、宣言だけではなく、その次に続く

取り組みが必要不可欠です。

また、岩手県のふるさと振興には、農林水産業と商工業の二つの産業バランスを保つことが非常に重要です。人口減少が著しい中山間地域の経済を支える農業の力を保つためには、農業者の経営感覚の育成が大切です。このような私の思いを一般質問に組み立て、次のような質問を行いました。

**私の質問:**知事はイクボス宣言に続く、働き方改革の二の矢、三の矢の取り組みをどう考えているのか伺う。

**知事答弁:**庁内や県内の企業等にイクボスの考え方を普及させるために『イクボス宣言』を行った。

また庁内保育施設の設置に係る課題検討も進めている。女性が働きやすい職場環境を推進するために、いわて働き方改革推進運動を進めており、1月にはイクボスをテ-

マにした経営者セミナーを開催する予定。

私の質問:農業を、雇用も担える産業に成長させるために、更なる農業経営者の育成に力を入れる必要があるが、現在の取り組み状況を伺う。

答弁:県では、企業的な経営を目指す農業者を対象に、岩手大学と連携して『いわてアグリフロンティアスクール』を開設し、企業家マインドの醸成を図るとともに農業経営アドバイザーなどと連携し、法人化をはじめ経営管理能力の向上を支援している。

さらに経営基盤の強化に向けて、農地中間管理事業による農地の集積・集約化や、いわてリーディング経営体育成支援事業による個別経営体への機会・施設の整備を支援している。

他に、花巻空港の利用促進の今後等について質問しました。

### 2017春号コラム COLUMN

## ILC:国際リニアコライダーといわて

今私が一番岩手に来てほしいと考えている施設が、ILC・国際リニアコライダーです。

ILCは、世界中でたった一つだけ作られる世界各国が共同で次世代につながる研究を進めていく国際研究施設です。ILCと同じような国際研究施設で有名なものは日本人宇宙飛行士も滞在する「国際宇宙ステーション」、それからあの「ヒッグス粒子」を見つけたヨーロッパの「セルン研究所」などがあります。これまでアジアにはこういった国際研究施設が一つもありませんでした。ILCの建設が決定すれば、アジアで初めての国際研究施設となり、これから100年という長い期間にわたって岩手に世界中から研究者が集まり、最先端の研究が進められていくこととなります。

先輩格の国際研究施設である「セルン研究所」では、2,000~3,000人の研究者が1チームとなつて一つの研究が進められるそうです。ILCでも同じような規模で研究が進められると考えられます。ILCの研究者は、2~3年の長期にわたつて一つの研究に携わっていきます。居住環境・教育環境が十分に整っていれば家族とともに岩手に移住する研究者も多いでしょう。ILCの建設によって、研究者とその家族を含めて約10,000人の外国人がILC周辺で生活するようになるのです。岩手の国際化が着実に進むことが容易に想像できますね。

ILCがもたらすメリットは、様々あります。

ILCは、直線型の加速器の略称ですが、加速器なんて私たちの生活には直接関係のないようにも感じますが、今日までの研究の成果により私たちの生活の様々な場面で加速器の技術が活用されています。代表的な例をいくつか挙げてみましょう。

医療分野では、CTスキャンやPET検査と言われる高度な画像診断装置やX線・量子

線を用いた高度な放射線がん治療にも小さな加速器が使われています。

考古学で古い埋蔵品が見つかった際に遺物の年代を炭素14という物質を用いて測定する技術にも加速器が使われています。加速器の活用により以前よりも短時間に少量の炭素14で年代を測定できるようになりました。

農業分野では、イオンビームを用いた農産物の品種改良技術にも活用されていますし、意外なところでは、空港の手荷物検査装置にも加速器技術が応用されています。

このように加速器の技術は、私たちの生活には欠かせないものになっています。

ILCの誘致は、このような加速器を用いた製品の開発を目指す企業の立地を促したり、10,000人の外国人の生活を支える新しいサービスが開発されたり、岩手に住む子供たちが幼少期に世界最先端の科学技術と科学者に触れ合える機会をもたらしたり、と岩手に新たな視点と成長をもたらすものと考えています。

ぜひ、皆さんも素粒子物理学の世界をのぞいてみませんか？

### 子どもたちとILCの事を学べる施設

盛岡子ども科学館、奥州宇宙遊学館、そのほかに出前講座もいろいろ開催されています。

### ハクセル美穂子プロフィール

昭和50年3月6日 栗石町生まれ  
 家族 / アメリカ人の夫、4人の息子 (小5、小3、小2、年中)  
 職業 / 英会話教室経営  
 趣味 / 読書、フラワーアレンジメント、散歩、博物館めぐり  
 学歴 / 栗石町立御明神小学校 [H62卒]・栗石町立栗石中学校 [H2卒]・盛岡第四高等学校 [H45卒]・岩手大学農学部 [H49卒]  
 経歴 / 平成9年 栗石町役場入庁  
 平成17年 夫とともにアメリカへ移る  
 平成18年 (株) Shady Grove Int'l設立 代表取締役就任  
 平成27年 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区初当選

ハクセル美穂子オフィシャルFacebook  
<https://www.facebook.com/mihokopage/>



盛岡で開催されたリニアコライダー学会参加者

